

# 社会保険労務士からの三方一両得だより

平成30年3月20日 第102号

## 雲巖寺に行ってきました

JR 東日本のテレビコマーシャルで、吉永小百合さんが訪れている雲巖寺に行ってきました。今年、JRが旅先に栃木県をプッシュするのは知っていましたが、初めてこのCMを見た時には栃木県にもこんなに綺麗なところがあるのかと驚いたものです。

場所は大田原市(旧黒羽町)。上三川町から向かうと、先月紹介した袋田の滝とほぼ同じ距離です。もっと山奥にあるのかと思っていましたが、田園地帯から少しだけ山に向かった県道沿いにありました。CMの効果が現れているようで、混雑しているわけではないのですがひっきりなしに観光客が訪れていました。



橋がいい味を出しています。

の四大道場の一つだそうです(永平寺もその一つ)。どうりで境内の雰囲気ピリッとしていたのだと納得しました。

冬の景色の今でさえこれだけ魅力的な場所ですから、CMと同じような新緑や梅雨時にはさぞかし美しい景色を見ることができると思います。お勧めです。

当日は天気が良く、抜けるような青空でした。華やかな装飾はないものの細かな細工が施された建物が、なんともいえない雰囲気醸し出しています。境内には樹齢550年の杉の大木や、(おそらく)桜の大木など、魅力的な樹木もたくさんありました。

この記事を書くために調べましたら、このお寺は禅宗



背後の山との一体感が素晴らしい。



切断面を乾燥させます。

先月末から苦土石灰を撒き、一週間空けてから堆肥を撒いて春の種まきシーズンを迎えました。ジャガイモは全く採れないということはないのですが、毎年どうにも周りの畑の成長具合に見劣りする状況でした。いろいろとネットで調べまして、改善策を取り入れてみることにしました。

我が家の畑

種芋は事前にカットしてしっかりと乾燥させ、畑には透明のマルチ(ビニール)を敷いて保温することにしました。効果の程はいかに？

## 手当等を活用して、従業員に会社の近くに 住んでもらう試み

今年は引っ越し事業者の人手不足から、希望のタイミングで引っ越しができない「引っ越し難民」が発生しているという報道がありました。

もともと 3～4 月は、会社の転勤や学校の新学期に伴う異動期であり、年間引っ越し件数の 3 分の 1 が集中する繁忙期ですが、特に今年は人手不足や働き方改革による業界の営業時間短縮の影響もあって、引っ越し業者が確保できない事態となっているようです。

今回は、従業員の住居と職場の距離について考えてみたいと思います。



NHK が 5 年ごとに行っている「国民生活時間調査」によれば、2015 年の平均通勤時間(往復)は 1 時間 19 分で、1995 年からほぼ変わっていません。

都市規模別では東京が最も長く、1 時間 42 分となっています。

従業員の立場では、必ずしも職場の近くに住みたいとは限りませんが、会社としては、従業員が事業所の近くに住んでくれたほうが嬉しいものです。長時間通勤で疲弊することなく業務で力を発揮できる、通勤手当が低額、緊急の業務や自然災害時の出退勤が容易、といったメリットがあるからです。

居住地をどこにするかは、言うまでもなく各従業員が自由に決定すべきことであり、会社は一切の強制をしてはなりません。その代わりに、職場の近くに住む従業員に「近距離手当」を支給することで、自発的に職場の近くに引っ越ししてもらうという方法があります。

「会社から半径〇km 以内」や「本社最寄り駅から〇駅以内」に住む者に対し「月額〇万円支給」という形式が典型的で、クックパッド、サイバーエージェントほか様々な企業が採用しています。似たような趣旨で「職場の近距離への引っ越し費用を補助する」という会社もあります。

私もかねてより通勤ラッシュの渋滞ほど無駄なものはないと思い、一人時間差出勤をすることもありました。職種によりフレックスタイムを導入できないことも多いと思いますが、独身者であれば引っ越ししてもらうという選択肢も有効だと思います。